

【 ① 問 題 項 目 シ ー ト 】

		A 経済機会	B 生活・文化機会	C 快適性・リラクゼーション	D 安心・安全性	E 環境持続性
弥富相生山線建設事業		A-1 周辺道路の交通渋滞の緩和 A-2 環状2号開通との相乗作用による自動車交通量の増加 A-3 地下鉄延伸による交通需要の吸収に伴う道路の必要性の低下 A-4 幹線道路ネットワークとしての効果の発現	B-1 名古屋の歴史・文化へのアクセス B-2 緑地へのアクセス B-3 相生山の散策路の分断	<親水> C-1 森の水循環への悪影響 <虫・鳥> C-2 ヒメボタル生息区域の減少 C-3 ヒメボタル観察の阻害 C-4 ヒメボタル観賞スペースの提供	<防災・救急> D-1 救急車両の到着時間、搬送時間の短縮 D-2 砂防法に基づく防災施設の整備 <交通安全> D-3 周辺生活道路への通りぬけ自動車交通の減 D-4 自転車・歩行者のルート確保 <安心> D-5 夜間の歩行者・自転車への防犯対策	<生物多様性> E-1 緑地の分断による生態系への悪影響 E-2 緑地遷移への影響 <低炭素都市> E-3 周辺道路の渋滞解消によるCO2の削減 E-4 誘発交通の発生に伴うCO2の増加 E-5 地下鉄桜通線への期待転換の阻害による低炭素都市2050なごや戦略との矛盾、逆行 E-6 大気汚染・騒音・振動の発生
弥富相生山線建設が影響を及ぼす関連事業	地下鉄桜通線事業（市バス再編含む）	A-5 地下鉄への転換が進まないことによる地下鉄の採算の低下				
	相生山緑地整備事業		B-4 周辺住民とヒメボタル観察者との関係（路駐、夜間の騒音など） B-5 環境教育へのヒメボタル・植生・地質の位置づけ B-6 相生山緑地の地質の理解	C-5 「景観アイコン」としての相生山のヒメボタルの位置づけ C-6 分断による緑地利用の制約		E-7 ヒメボタルの保護による他の生物への影響 E-8 今後の緑地管理の方法と持続性 E-9 自然教育の教育施設
	緊急雨水整備事業			C-7 雨水貯留施設の整備による水循環の保全	D-6 雨水貯留施設の整備による減災機能の向上	
	交通安全事業				D-7 周辺生活道路への新たな抜け道利用 D-8 新たな場所での交差点の渋滞	
現在の関連上位計画・戦略		なごや交通戦略 都市計画マスタープラン		水の環復活2050なごや戦略 みどりの基本計画	水の環復活2050なごや戦略 第8次交通安全計画	生物多様性2050なごや戦略 みどりの基本計画 低炭素都市2050なごや戦略

【 ② 分 析 デ ー タ シ ー ト 】

		A 経済機会	B 生活・文化機会	C 快適性・リラクゼーション	D 安心・安全性	E 環境持続性
弥富相生山線建設事業		・第3回パーソントリップ調査(中間)における需要予測 ・地下鉄延伸、環状2号線開通を前提とした需要予測(第4回パーソントリップ調査における需要予測) ・将来交通需要予測(政策変数を考慮・整備しない場合・道路交通センサス(H17)での予測) ・周辺交差点交通量調査(H12、20) ・交通渋滞状況(H8～18) ・夕方ピーク時における交通渋滞調査 ・現況の信号制御方法の確認と将来の制御計画(松) 〔・市バス再編による新ネットワーク ・学区別将来人口予測〕	・史跡散策路(相生山緑地と自然観察コース) ・相生山緑地へのアクセスマップ ・散策路ルート図	<親水> ・森が持つ保水力の定量評価 ・地形、地質、土壌調査(H10、12) ・地下水調査(H13～14) ・地下水位・湧水量調査(H17～) ・水の環復活2050なごや戦略に基づく水収支計算 <虫・鳥> ・改変の影響区域図 ・検証委員によるホテル視察 ・ヒメボタルに対する市民意識の調査	<防災・救急> ・救急、消防経路の調査 ・防災施設計算書 <交通安全> ・マイクロシミュレーションによる影響の予測 ・抜け道利用交通量調査(H12、21) ・通り抜けによる交通事故の発生状況(松) ・周辺道路における通学路の確認と通学人数の現況と予測(松) ・周辺地区における高齢者人口の現況と予測(松) ・相生山住宅、久方付近から西方への自転車経路の把握 <安心> ・照明装置の実験	<生物多様性> ・哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類調査(H10～12) ・植生、植物相、樹木調査(H10～12) ・猛禽類調査(H13～) ・林縁気象調査(H14) ・哺乳類行動調査(H15～) ・春季の生物相調査 ・環境対策の評価(事例) ・ヒメボタル成虫確認調査(H14～) ・ヒメボタル幼虫調査 ・ヒメボタルや希少種の保護事例の調査 <低炭素都市> ・林・加藤研究室の解析データ(林)
弥富相生山線建設が影響を及ぼす関連事業	地下鉄桜通線事業(市バス再編含む)	・将来交通需要予測				
	相生山緑地整備事業		・地形、地質、土壌調査(H10、12) ・ボーリング調査(H11) ・相生山緑地全体の地質図と地質断面 ・ヒメボタル分布と地質の影響	・相生山緑地の将来計画		・相生山緑地の将来計画
	緊急雨水整備事業			・貯留施設の容量計算書	・貯留施設の容量計算書	
	交通安全事業				・マイクロシミュレーションによる影響の予測 ・周辺交差点交通量調査(H12、21) ・地下鉄延伸、環状2号線開通を前提とした需要予測(第4回パーソントリップ調査における需要予測) ・他の地区のゾーン規制の事例研究	

名古屋市等が実施した調査・解析(下線は、検証にあたり、委員が追加が必要であるとした調査・解析)

【 ③ 分 析 結 果 シ ー ト 】

		A 経済機会	B 生活・文化機会	C 快適性・リラクゼーション	D 安心・安全性	E 環境持続性
弥富相生山線建設事業						
弥富相生山線建設が影響を及ぼす関連事業	地下鉄桜通線事業 (市バス再編含む)					
	相生山緑地整備事業					
	緊急雨水整備事業					
	交通安全事業					